

Ikiiki
Maebashi
Jin



おもちゃコンサルタントマイスター
黒田 桂子さん・56歳
千代田町二丁目

おもちゃで親子の絆を深めて

乳幼児や小中学生を持つ親を対象に地区公民館で開催されている「家庭教育学級」。この講座の1つに、おもちゃを手作りしながら子育てを学ぶものがある。講師は、日本グッド・トイ委員会認定おもちゃコンサルタントマイスターの黒田さん。作るのは、羊毛のボールで、羊毛を縮ませながら、30分以上かけて指先で丸め、中に鈴を入れて完成させる。

「おもちゃは、子どもの心や知恵、工夫する力などを育てることが出来ます。子育て中の親はもちろんですが、子どもを持つ前の若い人にも、良いおもちゃを知ってもらい、おもちゃを使った子育ての大切さを伝えていきたいです」
これからの未来の子どものために、子育て支援の輪を広げてほしい。

クローズアップ



石関公園に憩いの場

前橋工業高建築学科の生徒が石関公園に作成したあずまやが、本市に寄贈されました。この建物は、本市の花であるツツジの花びらをモチーフにした屋根と、資材に木のぬくもりを感じられる県産木材が使用されているのが特徴。同公園を訪れる人の憩いの場になっています。



赤城の恵



vol. 11



ブルーベリージュース

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った「赤城の恵ブランド」の認証品。今回は英農園の「ブルーベリージュース」を紹介します。

■赤城山南麓で

遊休農地を活用したいと考え、平成18年から嶺町と小坂子町の農場で栽培を開始。年間1トから2トのブルーベリーを作っています。

■安全安心な食材を届けるために

ジュースに使われるブルーベリーは、ラビットアイという品種。甘みが強く加工に適しています。安全安心なブルーベリーを食べてもらうため、有機栽培しています。

■ホームページからも注文できます

ジュースは自社の直売所や市内量販店などで販売中。価格（税抜



き)は、180ミリリットルが320円、720ミリリットルが1,500円。同園ホームページ (<http://hanabusafarm.com/>) からの注文もできます。

■旬の摘み取りを楽しむ

ジュースの他にブルーベリー果実も赤城の恵ブランドに認証されています。同園では6月からブルーベリー摘みをオープン。詳しくは同園ホームページをご覧ください。

■健康・栄養

ブルーベリーの色素であるアントシアニンには活性酸素の増加を抑える働き(抗酸化作用)があります。そのほか、血行をよくするビタミンEや整腸作用のある食物繊維なども多く含まれ、ジュースにすることで手軽に取ることが出来ます。

■生産者からのメッセージ

これからの季節は摘み取りもできます。ぜひ来園していただき、粒の大きさや新鮮なおいしさを確かめてください。

問い合わせは
英農園 ☎027-288-8888



バラの甘い香りが園内に

敷島公園ばら園で、5月17日から「ばら園まつり」が開催されています。園内には多くのバラが咲き誇り、鮮やかな色と甘い香りが来場者を魅了。期間中は前橋産新鮮野菜市やバラ苗の販売などの催しで訪れる人を楽しませてくれます。開催は6月8日(日)まで。



朔太郎への思いを語る

5月11日、前橋テルサで詩人・萩原朔太郎をしのぶ「朔太郎忌」を開催しました。芥川賞作家・川上未映子さんと文芸評論家・三浦雅士さんが「朔太郎の誘惑」をテーマに対話。朔太郎に対する思いについて語り、参加者は興味深そうに話を傾けていました。